

港区

景観表彰

平成29年度 受賞施設



港区

みどりの街づくり賞

平成29年度 受賞施設

港区みどりの街づくり賞とは

港区では、昭和54年度から建築計画に伴う緑化計画書の提出を義務付け、緑化の指導を行ってきました。緑豊かな都市づくりには、公共の緑とともに、民間施設の緑化が重要な役割を果たしています。

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の皆さんを表彰し、地域緑化への協力を感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って、平成16年度に創設をしました。

概要

表彰の対象となる施設

原則として、前々年度に完了した建築計画に伴う緑化施設で、港区みどりを守る条例施行規則の緑化基準を満たしているもの。

選定基準

学識経験者、都市緑化に造詣の深い区民及び環境リサイクル支援部長で組織する選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

- ① 周辺の景観と調和し、優れたデザインであること。
- ② 維持管理が適切に行われていること。
- ③ 自然環境の保護と再生に努めていること。
- ④ 建築物と植栽地がバランスよく配置されていること。
- ⑤ 既存樹木を活用していること。
- ⑥ あらゆる生きものが、相互に関わり合いながら生きられる生物多様性に配慮した植栽計画となっていること。
- ⑦ 在来植物を取り入れていること。
- ⑧ 地域社会とのつながりを持ち、地区への貢献度及びみどりの公開性が高いこと。
- ⑨ 先進的又は総合的にレベルの高い緑化技術を取り入れ、新しい緑の創出に創意工夫がなされていること。

賞の種類

みどりの街づくり賞 5点

詳細は毎年度選定審査会で決めています。

もくじ

緑-1 港区みどりの街づくり賞とは

緑-2 港区みどりの街づくり賞
TRI-SEVEN ROPPONGI

緑-3 港区みどりの街づくり賞
AZABU GARDENS WEST

緑-4 港区みどりの街づくり賞
パークマンション三田綱町ザフォレスト

緑-5 港区みどりの街づくり賞
GLOBAL FRONT TOWER

緑-6 港区みどりの街づくり賞 審査会委員総評

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園1-5-25 / 電話:03-3578-2330



受賞施設

港区みどりの街づくり賞

TRI-SEVEN ROPPONGI

- 建築主 ペンブローカー・リアルエステート・ジャパン・エルエルシー
- 設計者 外構設計:株式会社愛植物設計事務所
建築設計:株式会社竹中工務店
- 施工 株式会社竹中工務店
- 造園施工 株式会社朝日興産
株式会社稲造造園工務所
- 住所 港区六本木7-7-7
- 施設用途 事務所、商業施設
- 敷地面積 4805.60㎡
- 緑化面積 1274.19㎡ ● 緑化面積率 27%
- 接道部緑化延長 137.48m ● 接道部緑化率 63%

選定にあたっての評価コメント

賃貸オフィスビルと、江戸時代から続く神社の建替を共同で行った結果、①オフィスビルの地下駐車場の入り口の上部や、神社とビル間の空間を回遊式庭園のようにつなげた緑の散策ゾーン、②本殿正面の南側道路に面した広場とコーヒーカフェ前の日本庭園ゾーン、③東側の抜け道のような通路沿いの壁面緑化ゾーン、という三つの個性的で魅力的な緑のゾーンが生まれた。都市の隙間のような空間に新しい景観の楽しみ方を提示している。





受賞施設

港区みどりの街づくり賞

AZABU GARDENS WEST

- 建築主 ペンブローク・リアルエステート・ジャパン・エルエルシー
- 設計者 アーキサイトメビウス株式会社
- 施工 株式会社竹中工務店
- 住所 港区元麻布3-7-10
- 施設用途 共同住宅
- 敷地面積 3962.72㎡
- 緑化面積 758.3㎡ ● 緑化面積率 19%
- 接道部緑化延長 85.67m ● 接道部緑化率 85%

選定にあたっての評価コメント

閑静な環境に建てられた低層4階の賃貸住宅は、周囲に緑を惜しみなく提供している。地上、建物のベランダそして屋上に植栽が施され、建物がまさに植物をまとっているかのようだが、雑然とした感じはない。住宅周囲の歩道の舗石には、そこを歩く人へのサービスだろうか、かなり大ぶりの一二三石が打ってある。塀沿いのさりげなく植えられている矢竹は野趣を添えている。この住宅の出現が、この地域一帯を明るく美しくしている。

AZABU GARDENS WEST



受賞施設

港区みどりの街づくり賞

パークマンション 三田綱町 ザフォレスト

- 事業主 三井不動産レジデンシャル株式会社
- 所有者 パークマンション三田綱町 ザフォレスト管理組合
- 設計者 ダニエルガーネス 株式会社戸田芳樹風景計画
- 施工 イビデングリーンテック株式会社
- 住所 港区三田2-1-28
- 施設用途 共同住宅
- 敷地面積 6151.43㎡
- 緑化面積 2252.48㎡ ● 緑化面積率 37%
- 接道部緑化延長 78.36m ● 接道部緑化率 71%

選定にあたっての評価コメント

「洋中和魂」の森づくり

堅固で太目の石造門柱を入ると切り立った崖が迫り、常緑樹の濃い森が頭上高くに迫る。石の階段が森の中へ誘うとそこは平坦部。白い肌の巨大なユーカリの斜傾した木肌が人の目を奪う。そこは斜面中段にある散策歩道が様々な意匠をこらして木陰に続く。右手に笠の径が2メートル程と見える巨大な雪見灯籠に圧倒される。森の中に多種多様な下草類が生き生きと輝いている。その中であってツワブキ、ジャガ、ヤツデ、アオキ、クマザサ等々の斑入植物が薄暗い森の中に照明灯の如く明るさを与えている。



パークマンション 三田綱町ザフォレスト



受賞施設

港区みどりの街づくり賞

GLOBAL FRONT TOWER

- 事業主 三井不動産レジデンシャル株式会社・日本土地建物株式会社・伊藤忠商事株式会社・伊藤忠都市開発株式会社・清水建設株式会社
- 設計者 清水建設株式会社一級建築士事務所
- 施工 清水建設株式会社 東京支店
- 造園施工 イビングリーンテック株式会社 東京支店
- 住所 港区芝浦1-6-41
- 施設用途 共同住宅・店舗・保育所
- 敷地面積 10590.01㎡
- 緑化面積 2865.16㎡ ● 緑化面積率 27%
- 接道部緑化延長 106.6m ● 接道部緑化率 79%

選定にあたっての評価コメント

ウォーターフロントに立地し、高級マンションだが外構は閉鎖的ではなく、むしろ豊かな回遊緑地を地域に提供する計画で、運河沿遊歩道からもアプローチ出来ることが素晴らしい。隣地目隠しとなる樹種選択、路地状通路へも十分な植栽などの細やかな配慮もあり、湾岸エリアに適した樹種、花木、実の成る樹々、四季を通じて愉しめる植栽など評価は高い。ただ建物の高層化と運河で想定以上の風が生じるのかタブの大木が弱っているのが残念。樹勢の回復を願う。



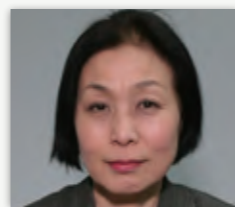
港区みどりの街づくり賞 審査会委員総評



千葉大学名誉教授
赤坂 信

「ロケーションを最大限生かす」

選ばれた4件はいずれも違ったタイプで、高層の建物もあれば低層もある。もちろん立地もさまざまだが、すべてロケーションを最大限生かしたものが選定されたと思う。低層の住宅がそこに出現したことで、この地域一帯が明るく美しくなることができれば、作った人、住む人そしてそこを通る人にとってこれほど幸せなことはいない。こうした実例が一つ。高層住宅に接してつくられた季節の木の花と実が楽しめる緑地。そこには誰もがアクセス可能で、運河などが近い申し分のないロケーションだけに今後が期待できる。次は丘陵部にある既存の大木、元の地形を活かした綱町エリアの森という雰囲気を持つマンションの庭。モダンと古典が融合した秀逸な庭で、区内外で誇れる内容を十分に持つ。最後は事務所、店舗、共同住宅を兼ねたビルの緑地。地形の段差をうまく利用して社殿を取り巻くような道の設定がおもしろく、工夫の跡が見られる。



藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰
港区景観アドバイザー
藤野 珠枝

「自慢の街づくりにつながる緑を」

港区が新規開発で求める緑化計画は他自治体より厳しいそうだ。そのせいか「まちに緑が増えて来た」と感じる事が多くなった。今年度の候補は、生物多様性を目論んだ樹種選択、建物と一体感のある植栽、既存樹木や地形を活かした外構などが見受けられ、嬉しい方向と思う。しかし緑は生き物。竣工時の状態がそのまま永続するわけではないことは誰もがわかっているが、高層ビルの足元や人工地盤などの厳しい環境にどう影響され、歳月を経てどう生長、遷移するのかとともに、どう手を入れ、メンテナンスしていかなければならないのかも計画時から考え、実行する手だてが欲しい。建物の長寿命化が目指される昨今、30年後、100年後も想定する必要があるのではないだろうか。「緑の街づくり賞」は竣工後2年目に加え、10年目、25年目など、施工された緑が適正に手をかけられ、親しまれ、自慢の街づくりに貢献している事例を選ぶことが相応しいのではと勝手に思っている。



港区景観審議会委員
日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授
有限会社GAヤマザキ 取締役
山崎 誠子

「緑の歴史的な資産は景観です」

みどりの景観のポイントで毎回委員の中で討議される課題が公開性である。公開されていない、一般の人が触れることができないものは、景観とは言えないのではないかとどれくらいその緑地が外から見えるか?等の論議がされる。今回、最終的に審査のポイントとなったのが、街からはみえにくい場所の魅力的デザインの庭と歴史的な緑の評価をどうするかであった。一般に公開する空間は安全、防犯、管理の側面が重要視され、そのため新しいルールや素材が入りこみ、歴史的な価値や緑地空間の魅力が半減してしまう結果になるものも多い。公開性はなくとも魅力的に保存、存続させるほうが港区の緑の景観にとって良いのではないかと。個人、民間のものでも評価して港区の緑の資産として認めるほうが次の世代につながる可能性があるという判断があった。港区は個人資産の魅力的な緑地が残っている。今後も、この賞で保存、存続が促されることを期待したい。



公益社団法人観音崎自然博物館 前理事長
技術士(都市計画)
高橋 雅雄

「緑化計画のさらなる個性化を望む」

今年度の最終審査対象物件は6件で、その規模や用途は多様でしたが、どれも生活環境向上のための緑化に対する意欲が感じられました。

そんな中で敢えて苦言と提言を述べるとすれば、次のような事柄ではなからうかと思います。今日のように数多くの緑化事例が展開されると、植栽計画の類型化が進んで、作品としての個性化が希薄になってゆくことを感じます。このことはある程度止むを得ないことなのかもしれませんが、計画での意外性を発揮することを期待したいものです。また、今回の対象物件にも感じられたのは、樹種や植栽終了が過多過密気味なことです。何が適正かということには多くの意見のあるところですが、植栽された樹木がゆとりをもって生育することが肝心なことと思います。

今まで、あまり着目されてこなかった樹木の果実について言及したいと思います。季節を告げる樹木の果実で、街の風景にインパクトを与えるものとしてまず柿の実があげられます。そのほか、カリン、夏みかん、キンカン、ザクロなどなど。市街地であって人々の目をひく果実はまさに“ランドマークツリー”の役割を果たす効果があると思います。緑化計画の中で一考に値することではないでしょうか。

景観表彰選定 審査会委員総評

港区景観審議会会長
東京工業大学大学院
社会学部工学研究科教授
齋藤 潮



区内の魅力的な景観を港区在住、在職、在学者に推薦してもらった初めての取り組みということもあって、周知方法、公募テーマ、選定方法などが手探りで進められた。初回の公募テーマ「街並み・街かど」への応募総数は32。これは少ないというべきだろう。そこには「街並み・街かど」とは言いがたい景観も含まれ、テーマの設定・提示方法にも課題を残した。表彰制度は応募者によって育てられ、鍛えられていく。課題はそう教えているのである。

港区景観審議会副会長
株式会社日本カラーデザイン
研究所シニアコンサルタント
杉山 朗子



このセレクションを通して、区民の方々と「景観」という言葉の意味や意義を考えていければと期待しています。これまでの暮らしや歴史を感じさせる場所、素敵なお店の設えや軒先の緑など、ちよとした街角なども取り上げていけたら、港区の魅力が多くの方に伝わるのではないのでしょうか。東京タワーなどは、港区だけのものではないというご意見もあります。また、またま地の利に恵まれた港区の「タワーのある景観」も様々見てみたいと思います。

港区景観審議会区民委員
八木 嘉也



新設された賞で「街並み・街かど」というテーマのせい、応募が思ったほど多くなく判断基準による選考のしにくさはありました。賞対象が区民の誇り、愛着のある景観で「港区の景観とは」「港区らしさとは」を考えると良い機会でした。景観に対する考えは人、時により変化するものであっても、身近な魅力ある、隠れた景観を見出し、隠れた、工夫をしながら、賞の意義を周知し、区民に関心を持ってもらい、発展させていきたい。

港区景観アドバイザー
株式会社佐藤尚巳建築研究所
代表取締役
佐藤 尚巳



区民の景観に対する意識の高揚と隠れた名所を掘り起こし広く区民に紹介することを目指して今年から新たに設けられた表彰制度で、毎年テーマを設定して募集することとなった。今年のテーマは「街並み・街かどの景観」であったが、様々な解釈で捉えた良好な景観が提出された。個人個人の思いが強く反映されており、興味深く拝見した。結果的には緑陰が心地よい沿道の景観が好感度をもって評価された。高木の緑陰空間の整備保全が公共としてもっと積極的に関わることが求められているようにも思える。

港区景観アドバイザー
株式会社戸田芳樹風景計画
取締役 設計室長
大橋 尚美



初めての試みは審査する側も初めてのことで、写真に込めた気持ちや審査するのになく、応募者が愛着を持った景観の良さを更に多くの方に伝える、その視点を審査することに集中しました。審査を通じて特徴的な歴史、文化、自然を併せ持つ港区の景観に更に深い興味が湧きました。が、ふと見るともっと身近で何気ない日常の暮らしの二コマの中にも素敵な景観がありました。次回は更に多くの方から、楽しく素敵な写真が応募されることを望みます。

景観街づくり賞の審査にあたって

今年度、港区景観アドバイザーによって推薦され、選定対象となった案件は3点で、敷地・建築規模において、また建築用途としても三者三様だった。以下は一般論である。大なるものは、規模からしてすでに周囲への景観的なつながりを保ちにくい。ただし、エクステリアに環境創出の余地が生まれる。それを敷地内で閉じず、外部と景観・空間的に一体化する創造性が問われるだろう。小なるものは単独で良好な景観創出というわけにはいかない。周囲の景観をどう受けとめ、何をどう返すかが問われる。もちろん、周囲が良好なら腕の振るいようも明確になる。中なるものは難しい。それ自体が周囲に与える景観的影響を考慮しつつ、街並形成の一員としての創造力も問われるからだ。求められるのは色彩や意匠などの表層の繋がりと、より、道行く人々への「向き合い方」の連続性だろう。

港区の景観賞候補には、いつも素晴らしい事例が挙がってきます。それだけに、形態・意匠・色彩などは優れていて当然。周辺とのマッチング、周辺の暮らしや文化への貢献や提案性、新しい景観としての創造性、人の動きへの関わり方、使い勝手の良さ等すべての点で評価が高くないと、評価に参加した全員の承認が得られないといった狭き門といえます。建物単体としての評価ではなく本来的な「景観」の評価が行われている賞といえるでしょう。これらの評価は今後ますます洗練度が求められていくのだからと思います。これまでの評価自体を改めて整理・討議をし、「景観を評価する眼」の基準として、継続・保持されていくことをお勧めしたいと思います。

賞対象候補は景観協議対象がある規模以上であり、比較的大規模な建築が多く、建築物も景観に配慮され、緑も適切に配置されています。既成市街地にできる大きな建築物は、個としての在り方も大切ですが、大規模ゆえのやりやすさを生かして、関係者が積極的に周囲との調和や親しみやすさを持つものにして、その地域の街並みに良い影響を与え、同時に、今後地域に出来る建築物への先導的な役割をもってほしいと思います。地域にこれまで住む、働く、訪れる人の視線を意識して建物や緑の景観が作られ、地域が安心・安全、心地よさを持った街並みになってほしいと思います。開放される広場や庭は、使いやすさ、やさしさ、楽しい場にして、そこに住む人や働く人だけでなく、地域の人々や訪れる人との交流ができ、造られた緑を皆で育てていければうれしい。

今年度の景観街づくり賞の最終選考に残ったのは僅か3作品であった。4、5年前に計画され一昨年度完成した物件が候補となったと思うが、都市を形成する建築の質的低下傾向が始まっているのか、一時的なものなのか、憂慮すべき状況にあると言える。景観アドバイザー会議で検討する物件の中には、これは素晴らしいと思える計画が全数の1割位はあるが、環境価値の形成に少しでも寄与するように頑張ってもらいたいと思うものが非常に多い。建築主も設計者も短時間で安価に建設し資金回収を図る自己中心的な思考から、地域全体の環境価値を向上させる方向への戦略転換をすることで、地域としての資産価値を高めようと努力する共通意識が形成される時代を早期に実現したいものである。

景観奨励賞を受賞した2作品は、港区の代表的な運河の水や並木の緑景観を活かし、その景観に寄り添うようにつくられた建築物です。木陰で水面の輝きを見ながら涼風を受け、親子や友と語り合える広場、大きな緑の天蓋の下で人々が行きかう姿を見ながら食事する空間、季節や時間により変化する自然は気持ち良い空間を創ってくれます。自然や人の変化が感じられる何気ないヒューマンなスケールの空間は心地良いものです。そのような一般市民も利用できる民間のオープンスペースや都市の緑に入り込んだ商業空間など、利用者の多様な活動や要求の受け皿となり、魅力的なまちづくりに寄与しています。自然と共生する良質で特徴的な民間のオープンスペースや賑わい空間は、これからの都市の幸せな市民生活に大きな役割を持つものになると思います。



- 事業主: 株式会社 サザビーリーグ
- 設計者: 株式会社 サザビーリーグ
- 施工: 株式会社 藤田建装
- 住所: 港区北青山2-1-15
- 施設用途: 飲食店
(他建築用途テニスクラブハウス)
- 敷地面積: 26185.08㎡
- 高さ: 5.65m

委員コメント① 「神宮外苑銀杏並木周辺景観形成特別地区」内にあって制約の多い中、この街角の面目を新たにしたいと思う。敷地内のイチョウが強剪定されているのは改修前からだが、以前よりも所を得たようにエクステリアに収まっている。場所と呼応したと言えるオープンカフェ設計で小気味よく、ある意味で価値が固定されてしまっているこの通りの景観に華を添えたといっている。奨励賞にとどまったのは、そもそもの立地条件の良さが割引かれたからである。



委員コメント② 外苑前の銀杏並木は剪定の樹形にもこだわっているといわれるほど、美しく快適な場所としても名高く、これまででも素敵なお店が出店されてきました。SHAKE SHACKは並木を借景として、風致地区にふさわしいように植栽にも気を配っています。古びた木など素材遣いも自然感溢れ、さりげない店舗景観を形作っているといえましょう。サインにはアクセント的に明るい色を用い、おしゃれで気軽に入れる店として魅力を発揮しています。

Shake Shack 外苑いちよう並木店

港区北青山二丁目1番15号

GLOBAL FRONT TOWER

港区芝浦二丁目6番41号



- 事業主: 三井不動産レジデンシャル株式会社・日本土地建物株式会社・伊藤忠商事株式会社・伊藤忠都市開発株式会社・清水建設株式会社
- 設計者: 清水建設株式会社 一統建築士事務所
- 施工: 清水建設株式会社 東京支店
- 住所: 港区芝浦1-6-41
- 施設用途: 共同住宅・店舗・保育所
- 敷地面積: 10590.01㎡ ● 高さ: 119.50m

委員コメント① 芝浦のカーディーラーが立ち並び殺風景なエリアに建つ超高層マンションである。敷地周辺及び東側庭園部に構内通路を貫通させて市民に開放している点、低層部の丁寧なデザインは高く評価された。一方で、マッシュブなタワーを分節することで圧迫感を抑えるデザイン処理を行ってはいいるが、航空法による高さ制限の結果のずんぐりとしたプロポーションが拭いきれず、遠景の印象に疑問が投げかけられ、大賞を逃したのは残念であった。

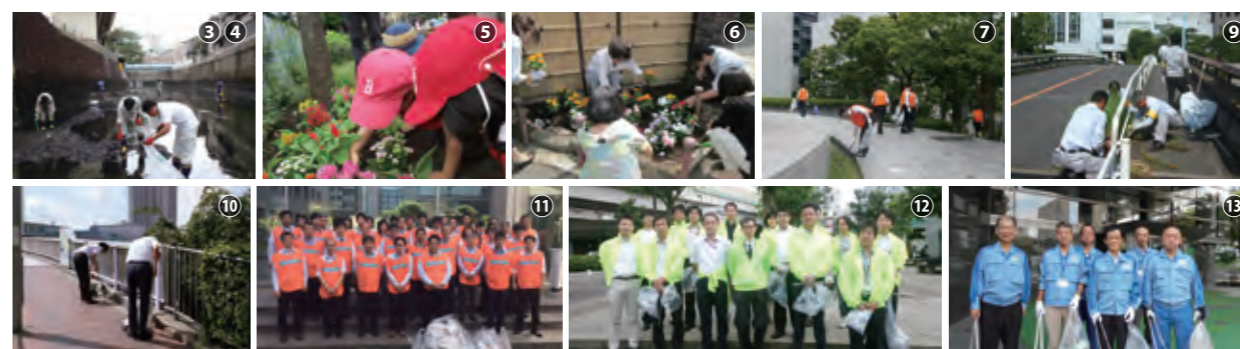
委員コメント② 区道沿いのスクリーン的な緑が建物の近景のボリュームを軽減し、歩道には緑のキャノピーを形成している。芝浦運河沿いの広場は市民にも開放された空間で、涼風を呼び込む緑や水景が新たなコミュニティの場となっている。区道から運河に人々を誘う道は解放感があり、変化ある緑が楽しい回遊空間である。ここに住まう人だけでなく、地域の人々との交歓にも配慮されている住まいである。水の潤い、緑の豊かさに包まれた親水庭園の住まいとして、これからの区の運河沿いの景観モデルの1つとなるであろう。



平成29年度 景観街づくり賞 特別賞 受賞団体 港区アドプト・プログラム - 道路・公園のボランティア活動 - (活動継続5年を経過した団体)

港区アドプト・プログラムとは・・・ 港区アドプト・プログラムは、地域の方々が道路・公園の維持管理を自主的に行う活動です (区と協定を締結)。継続的な活動が身近な景観街づくりに大きく貢献していることから、区から感謝の意を込めて表彰します。

活動継続5年を経過(平成28年度末現在)したアドプト・プログラム登録 団体					
実施団体	場所種別	活動内容	実施団体	場所種別	活動内容
① 芝C・Cクラブ有志	道路・公園	花壇管理	⑧ ひまわりクラブ	運河沿緑地	花壇管理
② 菱重ファンリティー&プロパティーズ株式会社	公園	花壇管理	⑨ 株式会社 新井組東京支店	道路	清掃
③ 港土木防災協力会	公園	清掃	⑩ プライミクス株式会社	道路	清掃
④ 港区造園協力会	公園	清掃	⑪ NTT東日本ビジネス&オフィス 事業推進本部	道路	清掃
⑤ OHANA International School	公園	草花植付	⑫ 株式会社 ジー・サーチ	公園	清掃
⑥ セラトレーディング株式会社	公園	清掃・花壇管理	⑬ 東電タウンプランニング株式会社 東京南支社	道路	清掃
⑦ 株式会社NITデータフロンティア	道路	清掃	⑭ 全芝浦屠場労働組合青年部	道路	清掃



問い合わせ | アドプト・プログラムについて | 各地区総合支所協働推進課土木係
 各地区電話番号 ▶ 芝地区 3578-3131 麻布地区 5114-8803 赤坂地区 5413-7015 高輪地区 5421-7615 芝浦港南地区 6400-0032



応募者情報

応募者氏名 高橋 雅雄 (区内在住)

推薦理由の概要「芝浦の景観を担うメタセコイヤ」

田町駅東口近くに、みなとパーク芝浦と愛育病院、芝生広場と樹林を伴う緑地が整備されまちの様相は一変した。これらの南側には運河と並行する道路には、以前からメタセコイヤが2列の並木として植えられ、その延長は240mに及ぶ。水を好むこの木は運河も近いせいか育成も順調で前記2施設とその高さを競う程だ。槍先を思わせる鋭く天を突く樹冠は春と夏には淡い緑、秋にはベージュ色に変色し、冬に落葉するといった季節変化を告げ、誰しもその変化に興味をそそられる。まさに芝浦のランドマーク的存在として景観の主役を担っている。

選定にあたっての評価コメント

芝浦の運河沿いの全長約200mのメタセコイヤ並木は、東京ガス敷地再開発前は人目につきにくく、なぜここに?という唐突感があったが、当該敷地の再開発が完了したことで存在感が確立され、新しい都市景観の軸となった。

その他のコメント

- ▶メタセコイヤが順調に育っている運河沿いというのは、親水の地域の港区らしい良好な事例。
- ▶メタセコイヤの景観は、落葉の冬も新緑の季節もアイデンティティをもっている。

芝浦運河通りのメタセコイヤ

芝浦二丁目



応募者情報

応募者氏名 松島 佐紀子 (区内在住)

推薦理由の概要「プラチナ通りのイチョウ並木」

穏やかな坂道の両側はイチョウの木が、夏は緑に、秋は黄色に色づく並木道。両側はお洒落なブティックやカフェ、パーティ会場にもなる大きなレストランもあり、コンビニ、ペットショップなど日常感も混在している。一本裏道に入るとひっそりとしたレストランやバーもある迷い込みたい通りだ。ペットとの散歩の途中に、テラスのあるカフェでちょっと一息。お子さんを幼稚園に送った後、お迎えの前にはママ友との食事会。久しぶりの友人とは、ウインドーショッピングも兼ねてちょっと優雅なランチを。楽しみ方色々「プラチナ通り」。但し、銀杏の実を踏まないように、要注意!

選定にあたっての評価コメント

良く知られた通りであるが、大きく育った並木の四季折々のたたずまいに加え、沿道の洗練された、多様な店舗のある、程よい街並みと今は比較的車も少なく、ゆったりと歩ける落ち着いた雰囲気。それらを総合して評価したい。

その他のコメント

- ▶イチョウがここまで並び育ったことが大成果。ここまで来ると、街路の美しさが何かは素人にも分かる。
- ▶変わらずにきれいな並木道で、多様な店舗もあり、店の様子がのぞけるのも楽しみ。

プラチナ通りのイチョウ並木

白金台四丁目
五丁目



応募者情報

応募者氏名 菅家 厚子 (区内在住)

推薦理由の概要「夕暮れの東京タワー」
ここから見る東京タワーは雄大で美しく特に夕暮れ時は疲れをいやしてくれ1日の残り数時間を乗り切るパワーと元気を与えてくれる私にとって大好きな場所です。

選定にあたっての評価コメント

夕暮れ時、車が行き交う中で、暖かい色味でライトアップされた東京タワーです。ほのぼのと心を和ませ、嬉しい気分にしてくれます。港区の様々な視点からの「タワーのある景観」の自慢大会も楽しいのではないのでしょうか。

その他のコメント

- ▶東京タワー眺望とともにある通りの典型といえよう。単なるランドマーク景観とは異なる。
- ▶東京タワーと多数の自動車、人、建ち並ぶオフィスに活力を感じる。

三田二丁目交差点からの夕暮れの東京タワー

三田二丁目
芝五丁目



応募者情報

応募者氏名 浜崎 佐恵子 (区内在住)

推薦理由の概要「すっきり素敵な散歩道」

二の橋を渡り見上げる日向坂。右手オーストラリア大使館側には春はさくら、左手寺院の並ぶ側は秋は紅かえでの街路樹が美しい。コンドル設計の三井倶楽部の角には樹齢数百年の大銀杏がある。向かい側かんぽ生命三田ビルは立派な堂々とした建物。ここから綱の手引坂が始まり、下り坂。赤羽小、三田高と続き、三田国際ビルに沿い曲がると、東京タワーが真正面に見える。

選定にあたっての評価コメント

区内には歴史や由来のある坂道が多く、その景観はそれぞれ特徴的なものです。坂道は区の地形の特徴であり、この街並みは大名屋敷が多くあった歴史を物語り、区の誇るべき景観と言えます。季節ごとに移ろう緑の発見も歩く楽しさを誘います。

その他のコメント

- ▶大使館、三井倶楽部などが建ち並ぶ、典型的な港区の誇るべき景観。
- ▶港区らしい個性、面白さがある。

日向坂から綱の手引坂

三田二丁目
二丁目

港区景観表彰とは.....景 1

区民景観セレクショングランプリ.....景 2
堀田坂から高陵中学校までのけやき並木

区民景観セレクション.....景 3
プラチナ通りのイチヨウ並木
日向坂から綱の手引坂
芝浦運河通りのメタセコイヤ
三田二丁目交差点からの夕暮れの東京タワー

景観街づくり賞奨励賞・特別賞.....景 5
GLOBAL FRONT TOWER
Shake Shack 外苑いちょう並木店
港区アドプト・プログラム

景観表彰選定審査委員会総評.....景 7

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園1-5-25
電話：03-3578-2204



選定景観

区民景観セレクショングランプリ

堀田坂から高陵中学校までの
けやき並木

西麻布四丁目

応募者情報

応募者氏名 高橋 善市

推薦理由の概要「けやき並木(トンネル)」

ビルが混在する港区にけやきの木が道路両端に並び緑のトンネルを作ってくれる。若葉の季節、紅葉の彩りはとてもすばらしく、テレビのロケにも数多く利用された、港区と渋谷区の境の区道である。高陵中学の前の通学路であり、制服姿がとても映える並木道である。

選定にあたっての評価コメント

ケヤキ一本一本はまだ若い、車道の両側の幹から枝を広げて天蓋をつくっている。新緑、緑陰、黄葉、冬枯れと折々にこの天蓋は表情を変えるのであろう。都心にありながら喧騒から遠のき、心身が解きほぐされる得難い街路である。応募者の思いと実際の景観とがしっかりと結び合い、選定委員の共感を得てグランプリとなった。

その他のコメント

- ▶距離としては長くない、地元民以外にはあまり知られていないのではないかな。秋のけやきの紅葉も素晴らしい。
- ▶ビル間でうまく剪定されて樹形をたもっている、通学路らしい景観。



港区景観表彰とは

港区では、平成21年に港区景観条例を施行し、同年に港区景観計画を策定しました。これらの条例・計画に基づき、建築物の建築等の際に区との景観協議を義務付け、助言・指導を行っています。その一方で、良好な景観の形成に関して功績のあった施設等を表彰することで、広く景観に対する意識の向上を図ることを目的として、平成23年度に景観表彰制度を創設しました。

概要

平成29年度で7回目となる今回から制度を拡充し、これまでの「景観街づくり賞」関係の賞に加え、一般公募による「区民景観セレクション」を新設しました。「景観街づくり賞」及び「区民景観セレクション」を、港区独自の「総合的な表彰制度」として展開し、良好な景観に対する意識を区民・事業者・区で共有していくことを目指します。

賞の種類	対象	選定基準	その他
区民景観セレクション	「区民が誇り、愛着を持つ景観」として区民等により応募されたもの	①地域性が感じられるもの ②波及性があるもの ③発見性があるもの	グランプリを選びその応募者に記念品を贈呈
景観街づくり賞 奨励賞	区と景観協議を行った民間施設のうち、前々年度に完了報告書が提出されたもの	①周囲からの見え方に配慮があり、周辺の街並みと調和しているもの ②建築物、植栽等がバランスよく配置されており、憩いと安らぎを創出しているもの ③地域特性を生かしており、まちの魅力の向上に貢献しているもの ④地域社会とのつながりを持ち、区民等への貢献が高いもの ⑤都市景観の創造に先導的な役割を果たしているもの	特に優れていると認められる施設を「景観街づくり賞」に、より一層の良好な景観形成を期待する施設を「景観街づくり賞奨励賞」に選定し、各受賞者に記念品を贈呈
景観街づくり賞特別賞	良好な景観の形成に功績のあった民間施設・民間活動で、区長が特に認めるもの		受賞者に記念品を贈呈

審査

港区景観審議会委員、港区景観アドバイザー等で構成する景観表彰選定審査会が書類・現地視察等に基づき審査を行い、受賞施設等を決定します。